



はなまき しょくぶん か  
「花巻の食文化」

ていじゅうがいこくじん しえん じぎょう にほんぶん かたいけんこうざ  
定住外国人支援事業・日本文化体験講座

し かいさい  
を「知ろう♪」開催しました

-Report-

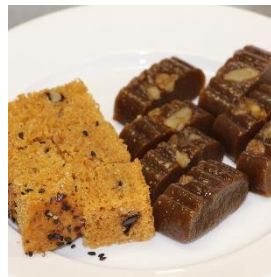


2月2日(日)、郷土料理をテーマとした日本文化体験講座を開催しました。講師に農花アグリヴィリーノの小原喜代美さんを、アシスタントに川村姫子さんをお迎えし、参加者は20名でした。



一品目はのり巻き、先生のお手本の後は早速実践です！皆さん楽しんで巻いていました♪

二品目はひつつみ作り、なべにひつみをちぎって入れました。初めての方がお多かったです



が、先生からは皆さん上手ですねとお褒めの言葉を頂きました。完成した料理と、先生からの差し入れ手作りの「がんづき」と「きりせんしょ」も一緒に頂きました。おいしく、作り方も勉強になり、参加者の皆さんに大好評でした。小原さん、川村さん、この度はありがとうございました。

# せいしょうねんかいがい は けんけんしゅうじぎょうほうこくかい R1青少年海外派遣研修事業報告会

**-Report-**



はなまききたちゅうがっこう  
花巻北中学校



1月30日(木)に今年度の青少年海外派遣研修事業の合同報告会が花巻北中学校で行われました。この報告会では、花巻市教育委員会の佐藤勝教育長をはじめ、協会役員や学校の先生方、花巻北中学校の1・2年生にも出席頂きました。今年度派遣された生徒の代表4名が、研修してきた内容を報告し、参加した方々は興味深く報告の内容に耳を傾けていました。

花巻北中学校での合同報告会から始まり、2月は市内の各中学校でも報告会が開催されました。

また、派遣生は以下のような研修テーマを掲げ、事前調査や、現地での調査、帰国後は国際フェアでの報告や報告書作成も行ってきました。



みやのめちゅうがっこう  
宮野目中学校



ゆもちゅうがっこう  
湯本中学校

**<研修テーマ> Hotsprings**

- ① 美術や音楽について
- ② 食事と学校生活
- ③ 街並みと温泉
- ④ 授業について
- ⑤ スクールライフとイベント
- ⑥ おもいやり

**研修テーマ**

- ・食文化について
- ・建築物について
- ・クルップ家について
- ・音楽文化について
- ・学校について
- ・民族衣装について

**Berndorf**

**研修テーマ**

- ・食文化の違い
- ・イベント
- ・学校の仕組み
- ・ハイスクールの様子
- ・スポーツ
- ・交流事業(受入)の比較

**Rutland**

Hanamaki/Rutland Student Exchange

**研修テーマ**

- ① クリントンの学校の様子
- ② 音楽との関わり
- ③ クリントンで行われている行事
- ④ ハロウィン
- ⑤ 食生活について
- ⑥ コミュニケーションの違い

**Clinton**

報告会開催にあたり、お時間を設けて下さった各学校関係者の皆様、ご参加頂いた皆様に改めて感謝申し上げます。なお、来年度の派遣生募集については4月以降、対象学年の生徒に対して学校経由で要項を配布する予定です。

こんげつごう こうへん とど  
今月号では後編をお届けします。

### ★建築物について

一番印象に残っているのは路面電車でウィーンを回った時のことです。国立オペラ座や楽友協会など音楽に関係のある建物がありました。また、長い歴史をもつハプスブルク家の王宮や、ウィーン大学、自然史博物館など、建物の外見がきれいに保たれていてすごいと思いました。これには、街並み自体を文化財として保護しようという法律「アンサンブル法」が関係しています。例えばある建物を建て直す場合、建物は前と同じ階層・色・装飾にしなければいけません。こうした法律によってウィーンの景観は守られています。日本にも法隆寺や、岩手の中尊寺金色堂のように長い歴史を持つ建築物があります。そして、「景観法」により広告物などの配置や大きさ・色・デザインに配慮するように決められています。両国とも、法律で昔の建物やその周りの景観をきれいに保つための工夫をしている点が共通していると思いました。



ペーター教会

### ★市の発展に貢献した「クルップ家」について

「クルップ家」はドイツで大成功を収めた財閥で、重工業などを手掛けていました。5代目当主アルフレード・クルップ氏が当時300人程度の小さな集落「ベルンドルフ」に銀食器の生産工場を建設し、後に甥のアーサー・クルップ氏が事業を拡大していきました。アーサー氏は経営する工場に従業員のために尽くしました。第一次世界大戦前、当時の最新技術を取り入れた劇場や家畜小屋、1200㎡のプールなどを自費で建設しました。最も心に残っているのはアーサー氏のアイディアでつくられた小学校です。「様々な国の文化に親しんでほしい」という想いから、教室がトルコのビザンチン様式や古代ギリシャのドーリア様式などのモチーフでつくられ、とてもすごいと感じました。クルップ家の貢献によりベルンドルフは3千人以上が住む集落に発展し、現在では約9千人が生活しています。ベルンドルフの発展について知ると共に、とても素晴らしい市であることがわかりました。



アーサー・クルップ氏



ファッションショーにて

### 民俗衣装(ディアンドル)について

オーストリア女性の民族衣装は「ディアンドル」と呼ばれ、白い半袖で襟の深いブラウスにワンピース、その上にエプロンを組み合わせたものが伝統的です。意味は「お嬢さん」「娘さん」で、アルプス山脈の農家の女性が着ていた伝統的な衣装がもとになっています。1870年頃までは、領主たちは領民の職業や立場を一目でわかるように衣装で区別していました。農民が衣装を独自に変化させたり、自由にデザインしたりすることは禁止されていました。領民が赤や青の服を着ることができない地域もありました。アルプス地方では中世後期の終わり頃まで、民族衣装は領民の制服のようなものだったのです。その後、時代の流れと共に変化し、地方ごとに柄・型・色など独自の特徴が見られるようになりました。週末に、イベントでファッションショーを見ました。そこでは前がボタンや紐のもの、スカーフや上着をはおるものなどデザインがアレンジされていました。現代への民族衣装の取り入れ方や新しいデザインが発表されているところは、日本と似ているなど感じました。私も日本の文化を上手に取り入れていきたいと思っています。

# -Report-

# ライサチェクさんとスケート教室

2月17日(月)に東京2020オリンピック・パラリンピック「復興ありがとうホストタウン」事業の一環として2010年バンクーバー冬季五輪男子フィギュアスケートの金メダリスト、エバン・ライサチェクさん(アメリカ出身)が花巻市を訪れました。石鳥谷アイスアリーナにて石鳥谷小学校の4年生を対象にスケート教室が開かれ、交流を深めました。ライサチェクさんは色々な滑り方をお手本として見せて一緒に滑ったり、鬼ごっこやリレーをしたりと、スケートを通して児童と楽しい時間を過ごしました。最初は緊張していた様子の子供们でしたが、滑っていくにつれ笑顔が見られ、後半はみんな上手に滑ることができました。ライサチェクさんと子ども達の笑顔がとても印象的なスケート教室となりました。



## としょ 図書だより



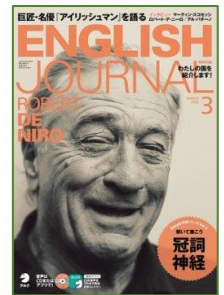
当協会では、一部の本の貸し出しをおこなっております！是非、交流会館まで足をお運びください。  
※尚、雑誌はバックナンバーのみ貸し出しいたします。(2週間)

＜定期購読雑誌 最新号の内容＞

• **Hiragana Times** -ひらがなタイムズ-  
「外国人に教える日本語学」

• **News Week** 日本語版  
「上級国民論」

• **ENGLISH JOURNAL** (CDは館内でのみ貸出可能)  
「解いて磨こう 冠詞神経」



### 問合せ先

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割183番地1  
TEL: 0198-26-5833 FAX: 0198-26-5855  
E-MAIL: kokusai\_staff\_c@ext.city.hanamaki.iwate.jp  
HP: http://hanakokusai.wordpress.com  
開館時間: 8:30~17:30 休館日: 土日祝祭日、年末年始

